



2018年3月20日

各 位

会 社 名 株式会社トランスジェニック
代表者名 代表取締役社長 福永 健司
(コード番号 2342 東証マザーズ)
問合せ先 取 締 役 船 橋 泰
(電話番号 03-6551-2601)

孫会社のCRO事業譲受けに関するお知らせ

株式会社トランスジェニック(代表取締役社長:福永 健司、福岡市)は、2018年3月20日開催の取締役会において、当社グループ会社の[株式会社新薬リサーチセンター](#)(以下、新薬リサーチセンター)の100%子会社である株式会社安評センター(当社 孫会社)において、資本業務提携を協議しておりました公益財団法人食品農医薬品安全性評価センター([「資本業務提携に向けた協議開始に関するお知らせ」\(2018年1月18日付けリリース\)](#))から事業を譲受けることについて、下記の通り決議いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 事業譲受けの理由

当社グループは、2017年5月に公表いたしました「中期経営 Vision2020」において、グループ中核事業であるCRO事業を中心とした差別化・高付加価値サービスの提供、及びM&A戦略推進を掲げ、持続的な成長構造の構築に取り組んでおります。そして、この取り組みを実行すべく、優れた技術を有し、当社の事業展開を補完するような企業との提携を検討しております。

このたび、事業を譲受ける公益財団法人食品農医薬品安全性評価センターは、設立来40年間に蓄積された実績、信頼を背景に、充実したGLP(Good Laboratory Practice:優良試験所基準)及びAAALAC(国際実験動物ケア評価認証協会)認証施設での高い科学性と信頼性に立脚した医薬品、食品、食品添加物、農薬、飼料添加物、一般工業化学物質等の化学物質の安全性試験のデータを提供しています。

本事業譲受けにより、当社CRO事業の強みである非臨床薬効薬理試験分野に加えて安全性試験の充実が図られ、医薬品開発における承認申請に必要な各種試験を網羅的に受託することが可能となり、潜在顧客の掘り起こし、さらにそれぞれの広範な顧客・営業網の共有化によるCRO事業の強化、拡大を図ってまいります。同時に、当社グループの中核子会社である新薬リサーチセンターの課題となっていた、繁忙期における設備規模(試験受入能力)を起因とした受注機会損失の発生という課題についても、譲受けたGLP適合及びAAALAC完全認証の研究施設をフルに活用することにより解消し、売上拡大に貢献することが期待されます。

当社グループは、多様なお客様のニーズに対応すべく技術の革新、サービスの拡充を図り、持続的な成長を果たすことによる企業価値向上を目指してまいります。

2. 事業譲受けの概要

(1) 譲受け事業の内容

医薬品、農薬、食品関連物質、工業化学物質などの化学物質等の安全性評価に関する試験研究の受託

(2) 譲受け事業の経営成績

決算期	2015年3月期	2016年3月期	2017年3月期
経常収益	813,104千円	673,772千円	655,837千円
当期経常増減額	△144,030千円	△185,711千円	△80,459千円
当期一般正味財産増減額	△144,260千円	△190,685千円	△81,047千円

(注) 財団の経営成績につきましては、公益法人会計基準に基づき作成された正味財産増減計算書の科目及び数値を記載しております。

(3) 譲受け事業の資産・負債の項目及び金額 (2018年3月20日現在)

取得対象事業の資産及び負債の額は、設備等の有形固定資産 430,000 千円、投資等 4,500 千円、及び承継する事業・試験契約に係る譲受日現在の未収金、仕掛品等の流動資産、前受金、リース債務等の流動負債・固定負債の金額となります。

(4) 譲受価額及び決済方法

事業の譲受価額については、譲渡先の希望により非開示とさせていただきます。

3. 相手先の概要

(1) 名称	公益財団法人食品農医薬品安全性評価センター		
(2) 所在地	静岡県磐田市塩新田 582-2		
(3) 代表者の役職・氏名	理事長 奈良間 功		
(4) 設立年月日	1978年9月		
(5) 上場会社と当該財団との間の関係	資本関係	特記すべき資本関係はありません。	
	人的関係	特記すべき人的関係はありません。	
	取引関係	特記すべき取引関係はありません。	

4. 日程

(1) 取締役会決議日	2018年3月20日
(2) 財団評議員会決議日	2018年3月26日(予定)
(3) 事業譲受契約締結日	2018年3月28日(予定)
(4) 事業譲受期日	2018年4月1日(予定)

5. 今後の見通し

本事業譲受けによる来期以降の当社連結業績への影響につきましては、平成31年3月期決算短信(平成30年5月11日公表予定)の業績予想に織り込んでまいります。

◆ご参考 : GLP(Good Laboratory Practice)

GLPとは、非臨床試験において、試験施設(場所)の設備・機器、組織・職員、検査・手順・結果等が、安全かつ適切であることを保証する「優良試験所規範(基準)」です。

AAALAC International (The Association for Assessment and Accreditation of Laboratory Animal Care International/国際実験動物ケア評価認証協会)

AAALAC International は、世界で唯一の国際的な第三者評価機関で、3R (Reduction (使用する動物数の削減)、Replacement (動物を使用しない 実験への置き換え)、Refinement (動物の苦痛軽減) の原則を踏まえ、科学社会における動物の道徳的な取り扱いを推進しています。世界中の900を超える医薬品およびバイオ技術企業、大学、病院およびその他の研究機関がこの認証を取得しており、動物実験及び動物管理が倫理的に実施されていることの実証として認められています。

以上